

広島大学工学同窓会(前広島工業会) 大阪支部 平成27年 季報 秋号 送付の件

大阪支部
支部長
中村 隆彦



拝啓、

秋も深まり、肌寒くなって来ました。

ノーベル生理学賞は、山梨大学名誉教授の大村智さん。

ノーベル物理学賞は、梶田隆章さんでした。広大からはまだまだですか。

我がカーブは、10/7中日の最終決戦にも1安打という貧打で負け、25年ぶりの・・・は夢のまた夢になってしまいました。

会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

広島大学工学同窓会(前 広島工業会)大阪支部2015年 季報 秋号をお届けします。

○今回は、9月5日(土)開催した、関西フェニックス役員会議事録がメインです。

グローバルキャリアデザインセンター

キャリア支援グループ グループリーダーが金子氏が退任され、豊島(としま)氏に代わられました。

○また、ホームカミングデーが、11月7日に開催されます。

野村謙次郎前広島東洋カーブ監督の講演もあります。

○小生の技能社員系研修で訪問する、大阪企業家ミュージアムの資料をつけます。

今、朝ドラでやっている五代友厚氏の特集もやってます。

○11月8日(日) 広島県 因島 斎島(いむしま)神社 で株式会社クボタ創業者 久保田権四郎翁の頌徳(しょうとく)祭
が開催されます。クボタからは、小生含め関係者9名参加予定です。冬号にはその記事を掲載します。

○H. 27年度 支部総会 日程

夏季号にも記載しましたが、株式会社クボタ 飯田専務のご都合をお聞きし、既にアポイント取りました。

1. 日時 H. 28年 3月19日(土) 14時～

2. 場所 株式会社クボタ教育センター H研修室
懇親会 4F和室

冬号で参加者お聞きします。

添付資料

1. 【本紙】2015年秋号 レジюме
2. 【資料1】関西フェニックス通信NO.26
3. 【資料2-1】ホームカミングデー案内
4. 【資料2-2】ホームカミングデー-map
5. 【資料3】大阪企業家ミュージアム
6. 【資料4】 五代友厚資料

以上

No.	役職等	氏名	卒業・修了 (年度)
1	会長	豊高 勝	工学研究科 (昭和46年度修)
2	副会長	中村 隆廣	工学部 (昭和56年度卒)
3	副会長(新)	西谷 寛	水畜産学部 (昭和53年度卒)
4	幹事	斉藤 武志	政経学部 (昭和39年度卒)
5	幹事	井上 健一	政経学部 (昭和43年度卒)
6	幹事	時永 賢治	政経学部 (昭和43年度卒)
7	幹事	岩井 宏陸	教育学部 (平成19年度卒)
8	幹事	田寺 和徳	教育学部 (昭和45年度卒)
9	幹事(新)	鈴木 秀男	農学研究科 (昭和48年度修)
10	幹事(新)	平川 修	政経学部 (昭和54年度卒)
11	監査	波多野 裕	学校教育学部 (昭和43年度卒)

2. 平成27年度事業計画について

(*平成26年度事業計画については、ほぼ計画どおり実施した。)

(1) 会議・行事

- ・ 定例役員会 平成27年 9月 5日 (土) 11:00~11:30
 - ・ 例会 (講演・懇親会含む) 平成27年 9月 5日 (土) 11:30~15:00
 - ・ ホームカミングデー 平成27年 11月 7日 (土) 10:00~17:00
 - ・ 定例役員会 平成28年 2月 27日 (土) 12:00~14:00
 - ・ 就活支援バスツアー 平成28年 3月 6日 (日) 18:00~20:00
- 卒業生との懇談会

(2) 主な実施事業

① 教育目標達成に係る事業

広島大学グローバルキャリアデザインセンター 森 教授の授業「職業選択と自己実現」に講師を派遣し、後期に講義を担当する。

② 募集力アップのための事業

6月28日(日)に、入学センター主催の広島大学説明会(神戸会場)にボランティアで出席し、高校生や保護者からの進路等の個別相談に応じる。(※今年度、豊高会長、西谷副会長が出席)

③ 就職活動支援事業

関西就活支援バスツアーの参加学生と卒業生との懇談会実施を支援する。
(後輩を励ますため、会員、広大卒業生の積極的な参加を呼びかける。)

④ キャリアアップ支援事業

公開講座等における講演の実施

(今年度はグローバルキャリアデザインセンター副センター長、相田美砂子教授による講演実施)

⑤ 会員相互の親睦・教養の向上推進事業

例会を開催し、会員相互の親睦を深める。

⑥ 母校訪問事業

11月7日(土)開催のホームカミングデーへの積極参加

⑦ 会報発行事業

メールマガジンを継続して発行する。

⑧ 会員拡大の取り組みについて

現在の会員数81名、引き続き、各会員による学生時代のクラブ、サークル、学部と同窓会での呼びかけ等を通じて、会員拡大に努める。

3. 講演会

「広島大学の大型プロジェクトと若手人材養成の取組み」

講師：広島大学グローバルキャリアデザインセンター 副センター長、
副学長(大学経営企画担当)、大学経営企画室長、大学院理学研究
科教授

相田 美砂子 教授

(プロフィール)

1979年3月 お茶の水女子大学大学院理学研究科化学専攻修士課程修了。1986年理学博士(東京工業大学)。1979年より国立がんセンター研究所研究員(1988~91年米国IBMに研究留学)。1998年10月広島大学理学部教授。2000年4月広島大学大学院理学研究科教授。学生に量子化学を教え、生体系

や溶液系の理論化学的研究を推進。2003年に新興分野人材養成のプロジェクトを開始して以来ずっと博士人材育成のプロジェクトを担当。2007年に女性研究者支援のプロジェクトを担当して以来ずっと、女性研究者支援や男女共同参画を推進。2007年から副理事（男女共同参画担当）や学長補佐（競争的資金担当）等に携わる。

広島大学の最近の大型プロジェクトや、これからの若手研究者の養成をどのようにしていくべきかについて、分かりやすく話をされ、大変好評でした。

（講演概要）

まず広島大学では現在、「スーパーグローバル大学創生支援事業」や「科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業（次世代研究者育成）」等の国の重要な事業が採択され、これは全国的に見ても特筆すべきである。

若手研究人材の養成の事業は、平成21年度から実施しているが、目的としては、男女を問わず、専門分野の知識だけではなく、視野の広い、幅広い知識とコミュニケーション能力を身に付け、新しい分野に挑戦する人材の育成であり、企業や研究開発機関等とマッチングさせるシステムの構築である。

具体的には、連携機関である企業等にインターンシップとして、博士課程後期学生や若手研究員を派遣することであり、企業への派遣の成果を例として挙げるならば、社会人としての心構えや研究職以外の可能性を実感できたこと等である。平成21年度から25年度までの5年間の取組みで多くの若手研究人材の養成を行ったが、産業界に27人送ることができた。これは当初の目標値14名を大きく上回るもので、国からは「S（所期の計画を超えた取組みが行われている）」と大変高く評価された。

平成26年度からは、「科学技術人材育成のコンソーシアムの構築事業（次世代研究者育成）」が採択されたが、これは山口大学・徳島大学を共同実施機関としつつ、国公私立大学や企業、公的研究機関と連携して行う。具体的には、2か月以上の博士人材の企業等へのインターンシップであり、実施に当たり派遣者への月額支援や交通費等も支出し、連携機関の負担を軽減している。関西フェニックスの会会員の方々にも、賛同いただけるようであれば、ぜひ連携機関となる企業等を御紹介いただきたい。

また、広島大学は「研究大学強化促進事業」に選定され、今後10年間、研究力強化の取組について年間3億円の支援を受けることになった。さらに、「スーパーグローバル大学創成支援」においてもトップ型に選定され、今後10年後、世界トップ100位以内の大学を目指している。

他にも広島大学をより良くする様々な取組を行っており、引き続き、皆様からも御支援・御助力をお願いしたい。



4. 懇親会

豊高会長の挨拶があり、江坂センター長の乾杯の音頭で、懇親会が始まりました。和やかな雰囲気では話が弾むなか、参加者の自己紹介・近況報告も行われるなど、会員相互の交流を一層深めました。

最後は、中村副会長の音頭による一本締めで、関西フェニックスの会および会員の、今後益々の発展、活躍を祈念して閉会となりました。



(懇談風景)



7/19

■ H27年9月5日（土） 平成27年度第1回定例役員会開催

（例会前に開催 11:00～11:30）

出席者：豊高会長、中村・西谷副会長、斉藤・井上・時永・田寺・鈴木・平川幹事、
西川・松水顧問

（事務局）江坂グローバルキャリアデザインセンター長、豊島グループリー
ダー、旭爪、田中主査

（審議事項） 新役員の選任、新規会員3名の加入を承認。その他、総会承認事項の
確認および事業計画に関わる事項について意見交換を行いました。

（その他）これまで、本会に御尽力された故丸岡副会長に対して、哀悼の意を表して
黙とうを行った。

~~~~~

（事務局より）

27年度例会も会員の皆さまのご協力が無事開催することが出来ました。  
心から感謝申し上げます。

27年度事業計画にも記載しておりますが、今後、行事が予定されていま  
す。ご参加、ご協力を何卒宜しく願いいたします。

○ 平成27年11月7日（土）東広島キャンパスで、開催される  
ホームカミングデーに、是非ご参加下さい。

14:00 講演会 15:30 懇親会

詳細は校友会のホームページをご覧ください。

<http://www.hiroshima-u.ac.jp/koyukai/>

○ 就活生と関西在住の卒業生等との懇談会を今年度も開催します。

約100名の就活生が参加予定ですので、会員以外の卒業生にも  
お声掛けをして頂き、多数の卒業生のご参加をお願いします。

日時：平成28年3月6日（日）18:00～20:00 調整中

場所：大阪市内（会場等は未定ですが、詳細が決まりましたら、  
またご案内します。）



9/19

“関西在住の広島大学卒業生の皆さんへ”  
 関西地区在住の広島大学卒業生で  
 組織化された母校応援団  
 “関西フェニックスの会”に、  
 あなたも参加してみませんか？



<広大校内にフェニックスを記念植樹>

●いつ加入できるのですか？

⇒いつでも加入できますが……卒業生なら“今でしょう！！”

在学生の皆さんは、関西に就職された時にでも！

○活動目的：①母校の応援（母校イベント参加、学生就職支援、  
 大学授業の講師派遣、企業情報の提供等）

②卒業生の交流、卒業生への支援等

○入会条件：広島大学卒業生及び広島大学職員・先生等

○入会費、年会費等：無料 ○事務局：広島大学キャリアセンター

○現在の会員：約80名 ○活動開始：H21年（2009年）

○加入手続き：下記申込書で送付又はホームページ (<http://www.hiroshima-u.ac.jp/kansai-fc/>)

より加入申込書をダウンロードし事務局に送付⇒役員会にて承認

<この様式で申し込みください>

「広島大学関西フェニックスの会」加入申込書

|                                                |                       |      |   |   |
|------------------------------------------------|-----------------------|------|---|---|
| 御氏名                                            |                       | 電話   | — | — |
| 御住所                                            | 〒                     | FAX  | — | — |
| E-mail                                         |                       | 勤務先等 |   |   |
| 卒業・修了(学部・研究科及び年月)                              | 学部・研究科、昭和・平成 年 月卒業・修了 |      |   |   |
| 在学時所属のクラブ、サークル名等                               |                       |      |   |   |
| 同窓会等その他の活動・現況報告<br>(差し支えなければ、退職前の勤務先等も記載ください。) |                       |      |   |   |

本会への入会をご希望の方は、上記の加入申込書を、下記事務局に郵送していただくか、電子メール又はFAXでお送りください。<FAX：082-424-6989 又は E-mail：[career-group@office.hiroshima-u.ac.jp](mailto:career-group@office.hiroshima-u.ac.jp)>

【加入申込書の送り先】

広島大学関西フェニックスの会 〒739-8514 東広島市鏡山1-7-1

広島大学グローバルキャリアデザインセンター気付



## 広島大学・関西フェニックスの会の“6つの特徴”

10/19

### ① 関西地区に発足した広島大学で初の全学部対象の集まり

⇒ 総合大学の特徴を活かし、学部を超えて異業種交流が可能 <異業種交流の場>

### ② 懇親が主目的ではなく、母校応援の活動を行う集まり

⇒ 懇親目的の同窓会とは異なり、活動を通じての世代間交流が可能

入会金・年会費は無料

<世代間交流の場>

### ③ H21(2009)年新発足以来、具体的支援活動を実行し展開中

・ 関西地区企業に就職希望の学生との交流会(毎年3月頃)

・ 神戸での広島大学入試説明会への参加支援(毎年6月頃)

・ 広島大学キャリアデザイン講座への講師派遣(毎年1回)

⇒ 後輩達への具体的支援で役立ちを実感することが可能 <相互感動の場>

### ④ 例会及び広島大学先生の講演会の同時開催を毎年実施(毎年9月頃)

⇒ 会員の相互交流と、暮らしに密着した広島大学の研究成果の新しい知見を学ぶことが可能 <会員相互交流・新知見学習の場>

### ⑤ イベント参加は強制的でなく、ボランティア活動のスタンスで

⇒ 各個人が主体的に自らの時間を拠出して関与し、会員全員の協力で成果を上げ、喜び・楽しみを共有することを基本に活動 <主体的に絆を繋ぐ場>

### ⑥ 広島大学に事務局を置き、会員も広島大学卒業生・職員・先生で構成

⇒ 長期視点で継続的に広島大学を応援する組織として、

大学側の熱意と母校愛あふれる卒業生で構成される、関西地区に根差した組織

<長期視点の拠点ボランティア組織>



11/19

## 理学部・ 理学研究科

### 第6回 広島大学理学部 生物科学同窓会記念講演会

講師/豊原 源太郎  
(1965年学部卒、1967年修士修了)  
演題/理学部生態実験園の思い出(仮題)  
時 12:45~15:30  
場 理学研究科 E棟210講義室  
12:15 受付開始  
12:45 学科長による学科紹介  
13:00 講演会  
14:00 懇親会

問 理学研究科生物科学専攻  
☎082-424-7439

### 地球惑星システム学科/専攻 「第5回DEPSS広島セミナー -教室OB(大学教授経験者)を招 いたホームカミングシンポジウム-」

時 13:00~17:30  
場 理学研究科 B棟603講義室  
原都夫先生(S30年卒)、石原舜三先生(S31年卒)、沖村雄二先生(S31年卒)、嶋本利彦先生(S44年卒)、4人の卒業生の講演と、大学院生による研究ポスター発表です。

問 理学研究科地球惑星システム学専攻  
☎082-424-7484

### 広島大学極限宇宙研究拠点 一般相対論誕生100年記念 市民講演会

時 13:00~16:00  
場 理学研究科 E棟002講義室  
「中性子星とブラックホール」  
京都大学大学院教授 中村 卓史氏  
「重力波：アインシュタインの奏でる  
宇宙からのメロディー」  
東京大学宇宙線研究所教授 川村 静児氏

### 広島大学キラル物性研究拠点 講演会

時 16:15~17:00  
場 理学研究科 E棟002講義室  
「新しい超伝導体を求めて」  
広島大学キラル物性研究拠点特任教授 秋光 純氏  
問 学術・社会連携室 ☎082-424-4426

## 工学部・ 工学研究科

### 講演会

研究科長挨拶及び近況報告  
博士課程修了者による講演  
博士課程在学者による講演  
博士課程進学について  
時 13:30~14:30  
場 工学研究科 大会議室 他  
問 工学研究科支援室  
☎082-424-7519・7518

なお、工学部・工学研究科では、学部3年生および修士1年の保護者を対象とした「保護者のための研究室見学」をあわせて開催します。参加申込については、工学部・工学研究科から学部3年および修士1年の保護者へ別途案内を行います。

### 保護者のための研究室見学

時 14:30~15:30  
場 工学研究科  
問 工学研究科支援室  
☎082-424-7519・7518

## 先端物質科学研究科

時 11:00~16:30  
場 先端物質科学研究科

### 研究室公開

量子物質科学専攻(2研究室)  
分子生命機能科学専攻(2研究室)  
半導体集積科学専攻(1研究室)

### パネル展示

研究成果などのご紹介

### 講演会

分子生命機能科学専攻、半導体集積科学専攻の卒業生などによる講演会を予定しています。

問 先端物質科学研究科支援室  
☎082-424-7007

## 生物生産学部・ 生物圏科学研究科

### 研究科創立30周年記念事業

#### 第1部 記念シンポジウム

時 13:00~14:30  
場 生物圏科学研究科 C206講義室  
講師 谷口 幸三 名誉教授(前研究科長)  
植松 一真 研究科長

#### 第2部 附属施設キャンパスツアー

Aコース:農場、圃場、鶏舎、食品工場の見学  
(東広島キャンパス内)  
時 15:00~17:30  
※海外から帰国後2週間以内の方は、防疫上の理由により参加できません。

Bコース:練習船 豊潮丸の乗船見学  
(呉基地~呉港周遊クルーズ)

時 14:30~17:30  
※先着40名限定(荒天の場合は停泊見学となりますのでご了承ください。)

#### 第3部 研究科創立30周年記念祝賀会

時 18:00~20:00  
場 西条 HAKUWA ホテル  
問 生物圏科学研究科支援室  
☎082-424-7902

## 国際協力研究科

時 14:00~18:00  
場 国際協力研究科(1階ロビー、2階講義室)  
南二駐車場

### IDEC Open Day 2015 Welcome to IDEC ~世界の国からコンニチハ!!~

- 世界の歌や踊り(伝統舞踊ステージ)  
各国の伝統的な踊りや歌を披露します。
- 世界の文化(伝統料理・ゲームコーナー)  
各国の伝統料理やゲームをお楽しみください。  
売上はすべてネパール大地震へ募金します。

問 国際協力研究科院生会  
☎082-424-6917

## 霞地区合同 医学部・歯学部・薬学部・医歯薬保健学研究科・ 原爆放射線医学研究所・大学病院

時 平成27年11月14日(土) 15:00~16:30  
場 広仁会館 大会議室(広島大学霞キャンパス)

### 講演会 なぜ、「これ」は健康にいいのか?

順天堂大学医学部教授 小林 弘幸氏

「健康とは、どのような状態か?」とよく質問されます。私は「末梢の一つ一つの細胞に、質の良い血液を十分に供給できる状態」とお答えしていますが、この働きの中枢を担う「自律神経」の重要性についてお話します。

問 霞地区運営支援部 ☎082-257-5013

11月14日(土)  
霞キャンパス





# HCD 9th

平成27年 11/7<sup>±</sup>  
第9回 広島大学ホームカミングデー

## HCDスペシャル

時 14:00~15:00  
場 法学部・経済学部講義棟 255・257講義室

トークショー  
「野球が私に教えてくれたこと」  
野球評論家、前広島東洋カープ監督  
野村 謙二郎 氏



## HCD 学生チーム企画

時 10:00~16:00  
場 サタケメモリアルホール前広場



## 連携市町の物産展

時 10:00~17:00  
場 サタケメモリアルホール前広場



## 懇親会 (会費制)

時 15:30~17:00  
場 学生会館レセプションホール



## 東広島天文台観望会

時 17:00~19:00  
場 東広島天文台※マイクロバスで送迎

定員50名  
当日、総合受付にて  
16:30~受付開始



## 文書館

時 10:00~17:00  
場 学生会館

## 「広島大学の歴史展」



## 学部・研究科企画 等

### 総合科学部・総合科学研究科

時 13:30~15:00  
場 総合科学研究科 第1会議室

### 13:30~14:10 日本人学生及び外国人留学生による留学報告会

海外留学から帰国した日本人学生が海外での学生生活や文化的な違いなどについて、また、広島大学に留学してきた外国人留学生が日本での学生生活や文化的な違いなどについて、それぞれ報告します。

### 14:20~15:00 総合科学部後援会総会

総合科学部及び総合科学研究科における円滑な教育活動を支援し、併せて会員相互の理解及び協力関係の維持を図ることを目的として設置する総合科学部後援会の総会を実施します。

問 総合科学研究科支援室  
☎082-424-6303・6306

### 教育学部・教育学研究科

#### 「共にまなぶ・はたらく・くらす」

時 10:00~17:00 場 学生プラザ1F  
特別支援教育学講座・特別支援教育実践センター教員の研究を中心に、広島大学の障がい者雇用、附属東雲小・中学校での特別支援教育に関する展示・発表・体験などを行います。

問 特別支援教育学講座事務局  
☎082-424-7180

#### 「人間生活を考える ～暮らしの伝承と創造～」

時 11:00~16:00  
場 教育学部 K棟214講義室  
研究成果の紹介と手づくり作品の展示・販売。人間生活系コースと来年60周年を迎える同コース同窓会との共催企画です。

問 人間生活教育学講座  
☎082-424-6851・6861

### オペラ名場面集

時 15:00~17:00 (14:30開場)  
場 教育学部 音楽棟演奏室 (F101)  
「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「コシ・ファン・トゥッテ」「カヴァレリア・ルスティカーナ」「こうもり」「カルメン」から名場面をセレクトしてハイライト上演します。

問 音楽文化教育講座事務局  
☎082-424-6834

### 文学部・文学研究科

時 14:00~16:00  
場 文学研究科 講義棟1階学生ロビー

#### 文学部で味わう 世界のティータイム

文学部・文学研究科で学ぶ外国人留学生が講師になり、日常会話レベルの母国語や自国の生活・文化を紹介します。留学生の出身国のお菓子やお茶を楽しみながら、気軽に異文化を体験することができます。

問 文学研究科支援室 ☎082-424-6604

### 法学部・経済学部・社会科学研究科

時 11:00~13:00

#### 11:00~11:15 各部署長挨拶

法学部長、経済学部長、社会科学研究科長

#### 11:15~12:15 講演会

大学院社会科学研究科  
原口 恭彦 教授  
場 法学部・経済学部 講義棟B351大会議室

#### 12:20~13:00 懇親会

場 法学部・経済学部 研究棟A102中会議室  
問 社会科学研究科支援室  
☎082-424-7205



# HCD 9th

平成27年 11/7(土)

## 第9回 広島大学ホームカミングデー

### HCDスペシャル

時 14:00~15:00  
場 法学部・経済学部講義棟 255・257講義室

トークショー  
「野球が私に教えてくれたこと」  
野球評論家、前広島東洋カープ監督  
**野村 謙二郎 氏**



### HCD学生チーム企画

時 10:00~16:00  
場 サタケメモリアルホール前広場



### 連携市町の物産展

時 10:00~17:00  
場 サタケメモリアルホール前広場



### 懇親会(会費制)

時 15:30~17:00  
場 学生会館レセプションホール



### 東広島天文台観望会

時 17:00~19:00  
場 東広島天文台※マイクロバスで送迎

定員50名  
当日、総合受付にて  
16:30~受付開始



### 文書館

時 10:00~17:00  
場 学生会館



### 「広島大学の歴史展」



### 学部・研究科企画 等

#### 総合科学部・総合科学研究科

時 13:30~15:00  
場 総合科学研究科 第1会議室

#### 13:30~14:10 日本人学生及び外国人留学生による留学報告会

海外留学から帰国した日本人学生が海外での学生生活や文化的な違いなどについて、また、広島大学に留学してきた外国人留学生が日本での学生生活や文化的な違いなどについて、それぞれ報告します。

#### 14:20~15:00 総合科学部後援会総会

総合科学部及び総合科学研究科における円滑な教育活動を支援し、併せて会員相互の理解及び協力関係の維持を図ることを目的として設置する総合科学部後援会の総会を実施します。

問 総合科学研究科支援室  
☎082-424-6303・6306

#### 教育学部・教育学研究科

#### 「共にまなぶ・はたらく・くらす」

時 10:00~17:00 場 学生プラザ1F  
特別支援教育学講座・特別支援教育実践センター教員の研究を中心に、広島大学の障がい者雇用、附属東雲小・中学校での特別支援教育に関する展示・発表・体験などを行います。

問 特別支援教育学講座事務局  
☎082-424-7180

#### 「人間生活を考える ～暮らしの伝承と創造～」

時 11:00~16:00  
場 教育学部 K棟214講義室  
研究成果の紹介と手づくり作品の展示・販売。人間生活系コースと来年60周年を迎える同コース同窓会との共催企画です。

問 人間生活教育学講座  
☎082-424-6851・6861

#### オペラ名場面集

時 15:00~17:00 (14:30開場)  
場 教育学部 音楽棟演奏室 (F101)  
「フィガロの結婚」「ドン・ジョバンニ」「コシ・ファン・トゥッテ」「カヴァレリア・ルスティカーナ」「こうもり」「カルメン」から名場面をセレクトしてハイライト上演します。

問 音楽文化教育教育学講座事務局  
☎082-424-6834

#### 文学部・文学研究科

時 14:00~16:00  
場 文学研究科 講義棟1階学生ロビー

#### 文学部で味わう 世界のティータイム

文学部・文学研究科で学ぶ外国人留学生が講師になり、日常会話レベルの母国語や自国の生活・文化を紹介します。留学生の出身国のお菓子やお茶を楽しみながら、気軽に異文化を体験することができます。

問 文学研究科支援室 ☎082-424-6604

#### 法学部・経済学部・社会科学研究科

時 11:00~13:00

11:00~11:15

#### 各部局長挨拶

法学部長、経済学部長、社会科学研究科長

11:15~12:15

#### 講演会

大学院社会科学研究科  
原口 恭彦 教授

場 法学部・経済学部 講義棟B351大会議室

12:20~13:00

#### 懇親会

場 法学部・経済学部 研究棟A102中会議室

問 社会科学研究科支援室  
☎082-424-7205





野球評論家、前広島東洋カープ監督

# 野村 謙一郎 トークショー

「野球が私に教えてくれたこと」

とき

11月7日(土) 14:00～15:00

ところ

法学部・経済学部講義棟 255・257 講義室

HCD 9<sup>th</sup>  
平成27年 11/7(土)  
第9回 広島大学ホームカミングデー

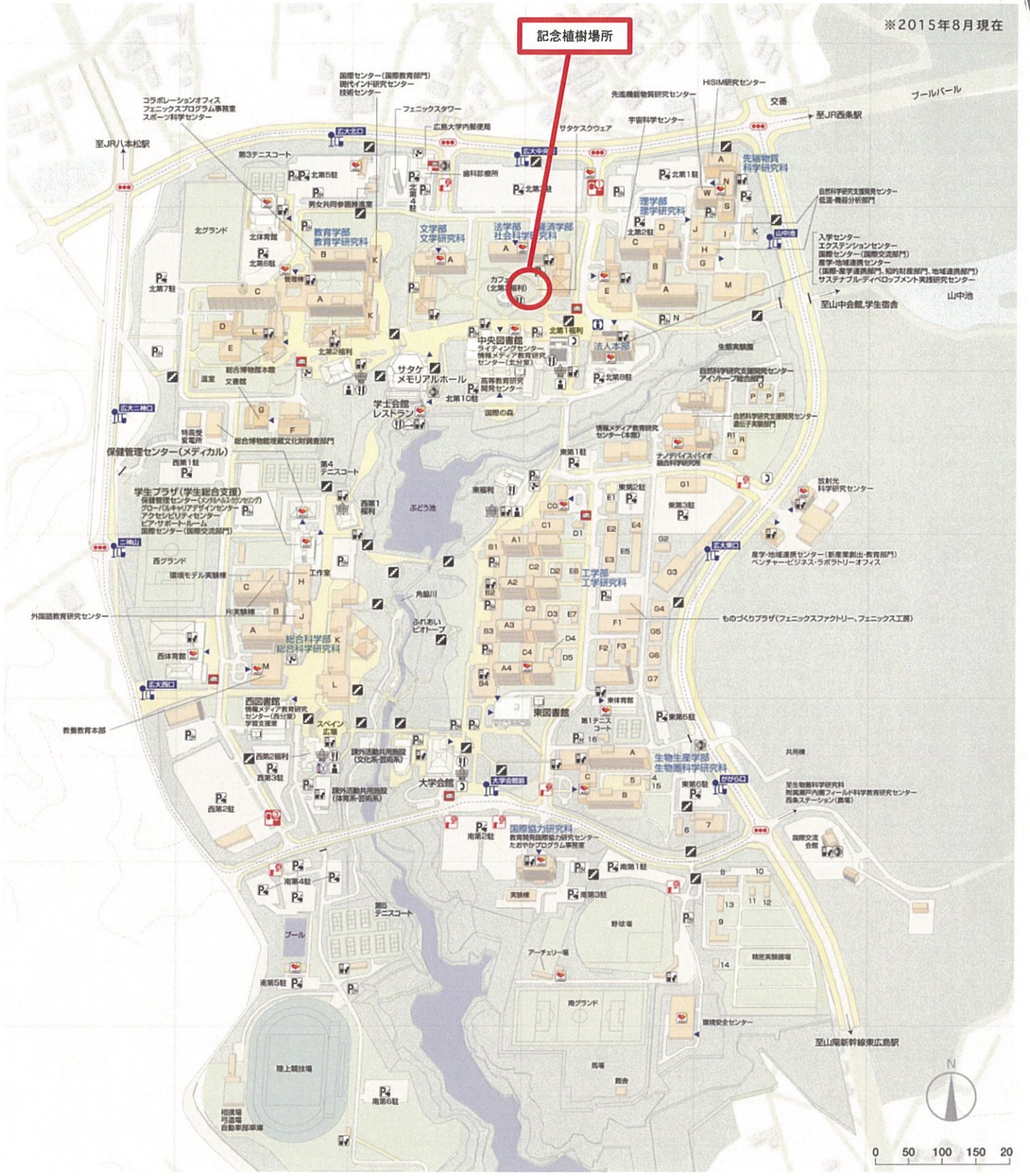
第9回 広島大学  
ホームカミングデー

スペシャル



※2015年8月現在

記念植樹場所





第3ブロック

豊かな時代の形成 ~復興から繁栄へ~

| コーナーテーマ                       | 関係企業家                                    | 企業家の主な業績                                                                                                             |
|-------------------------------|------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 現代大阪の再生に力を尽くす             | 杉 運助                                     | 戦後大阪経済の復興に莫大の力を尽くす                                                                                                   |
|                               | 各口三郎<br>日向芳實<br>佐伯 勇                     | 自由主義経済を守る田米継雄交渉の熱を闘い<br>自由経済の旗とす宮本と、関空、関西空港都市発展をリード<br>法眼力でもが国最大の孤狼を育成し、日中交関係を先鞭つける                                  |
| (2) エネルギーで<br>経済成長と生活の豊かさを支える | 水田碩士郎                                    | 「黒四」の工業を推進、電力の安定確保で戦後経済成長を支える                                                                                        |
|                               | 戸原繁重<br>西山 啓<br>岩谷直治                     | 資源の有効利用をめざした発電技術の革新<br>“天然ガス転換”で、豊かな時代の生活向上と産業の発展を支える                                                                |
| (3) 電化で生活スタイルを変える             | 松下幸之助                                    | 台所革命から宇宙開発までガスとエネルギーの市場を創造                                                                                           |
|                               | 井植歳男<br>早川徳次                             | 物づくり・人づくりを通して、生活文化の向上に貢献<br>親いマーケティング力とフロンティアスピリッツとで産業革命時代をリード                                                       |
| (4) 新しい暮らしと都市空間を創造する          | 石橋権次郎                                    | 格別技術で総合エレクトロニクス企業への道を拓く                                                                                              |
|                               | 田島 健<br>能村純太郎                            | 建築の工業化を推進し、戸建住宅から団地開発へ展開 <b>ダイワハウス</b><br>徹底した顧客志向と現場主義で、住宅工業化と街づくりを推進 <b>セキスイハイラス</b><br>“阪”のもつ可能性を追求、世界の版図積極的をリード  |
| (5) 独自の技術でモノづくりに挑む            | 堀川永一                                     | 先端技術を開く特殊技術で世界をリード                                                                                                   |
|                               | 山田 隆<br>吉川秀信                             | フロンティア開発と先端技術でフタバ製紙など独創技術を開発 <b>タスキエン</b><br>理美容・印刷用剤など特殊材料づくりで世界トップへ                                                |
| (6) 流通に革新をもたらす                | 中内 功                                     | 「よい品をどどんと安く」、価格決定権を消費者へ                                                                                              |
|                               | 西浦行雄<br>大西啓平<br>和田源三郎・清治<br>越後正一<br>若川 忍 | 香料品小売にセルフレジを導入し、「小売連鎖」形成めざす<br>セルフ販賣方式で「飽場」に革命を起こす<br>社会への奉仕を理想にチェーンストア経営に取り組む<br>果敢な進化学シフトと奮闘力武器に新生「伊藤忠」の総合商社化基盤を築く |
| (7) 現代人の食文化を創る                | 高井恒昌・行徳裕弘・池田 信                           | ライフスタイル提案型高級販売で女性の心をつかむ                                                                                              |
|                               | 安藤百福<br>大辻繁規<br>佐治敏三                     | インスタントラーメンで新たな食文化を創る<br>日本の食文化を求めた新しい食肉加工製品の開発<br>“生活文化”テーマに、洋風を基とする事業多角化を推進                                         |

◎主展示

企業家たちの  
チャレンジとイノベーション  
展示企業家

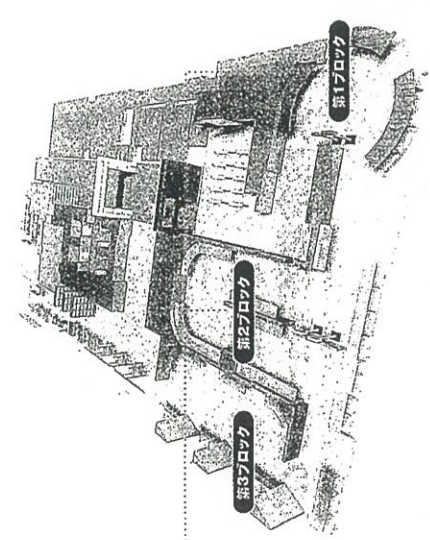
大阪企業家ミュージアム  
The Entrepreneurial Museum of Challenge and Innovation

第1ブロック

○プロックリーダー

近代産業都市大阪の誕生 ~ 産業基盤づくり ~

| コーナーターマ                   | 原主企業家                                           | 企業家の主な業績                                                                                                                                   |
|---------------------------|-------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 近代大阪の経済基盤を築く          | 五代友厚<br>松本重太郎<br>森田伝三郎<br>広瀬清平<br>中根律五郎         | 明治維新期の大阪経済再生と近代化をリード<br>銀行を基盤に重利企業家の設立・育成に手腕を発揮<br>新産業の育成や地産地消産業を多角的に展開<br>別子銅山近代化と新産業育成・事業多角化を果した「往々中興の祖」<br>産業を築く海運の革新と人材の育成・輩出          |
| (2) 大阪を野洋のマンチエスターに        | 山本武夫<br>菊池三郎<br>武原山治<br>福原太郎                    | 近代化の妨げを撤去し、わが国の経済発展を促す<br>紡績技術と経営革新で紡績業の近代化を遂げる<br>ヒューマンリソースと科学的台帳の労務管理を築く<br>綿織産業の発展を促した染色技術導入と開発                                         |
| その後、繊維産業の発展に<br>貢献した企業家たち | 水原孫三郎<br>大原健一郎<br>津田信吾<br>桂山健三<br>石本健吾          | 紡績を基に化学繊維などの多角化と労働管理主義の確立<br>合成繊維ビニロンと人工皮革の製造で化学工業へ進出<br>デザイン・マーケティングに注目、非繊維部門で多角化推進<br>「炭製綿」の製造・販売の基盤でアパレル産業を開花<br>ワンポイントマークでスポーツウェア市場を拡大 |
| (3) 貿易を発展させる              | 伊藤忠兵衛(初代・2代)<br>堀井隆次郎<br>安宅隆吉                   | 縁起から、近代総合商社への進出<br>海外直接取引に先鞭、重化学工業国際化に力を注ぐ<br>国内産業発展を促進過程から変える                                                                             |
| (4) 新しい金融の仕組みをもたらす        | 野村権七(2代)<br>私住野三郎・片岡直温<br>岩下清司<br>小山健三<br>阪本清兵衛 | 近代証券業を確立し、「証券」の大衆化に尽くす<br>わが国生合保険制度の基盤をつくる<br>ベンチャー・キャピタリストの母体として多くの産業、企業家を育成<br>高いモラルで近代商業銀行を確立<br>ビルプロローガー業務の草分け、企業の資金調達に貢献              |
| その後、金融業で<br>活躍した企業家たち     | 畑田三三<br>渡辺忠雄<br>寺屋隆夫                            | 成長企業の発掘・育成に手腕を発揮し、大型合併で産業再編をリード<br>「ビーズバザンク」をスローガンに銀行の大衆化を推進<br>「自主強柱」を貫き、信託併合を駆動する                                                        |



主展示エリア

第2ブロック

○プロックリーダー

大衆社会の形成 ~ 消費社会の幕開け ~

| コーナーターマ                   | 原主企業家                                                                     | 企業家の主な業績                                                                                                                                                                                                                     |
|---------------------------|---------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 都市空間を創造する             | 本村淳五郎<br>竹中屋右衛門(14代)<br>鹿野舎吉・片岡安                                          | 精工業を次々誘導、近代土木建築業の基盤を築く<br>作品第一主義で建築界の発展に尽くす<br>建築設計と都市計画で近代都市・大阪をつくる                                                                                                                                                         |
| (2) 製薬・化学に新たな地平を拓く        | 武田兵衛(5代)<br>田邊五兵衛(12代)<br>堀野三郎(初代)<br>高津友吉(初代)<br>森下 博<br>上田英一郎           | 研究開発体制をいち早く整備し、新薬開発に果敢に挑戦<br>優れた化学薬品で産業の発展に貢献、製薬メーカーへの基盤をつくる<br>産地共同で新薬開発し、直接ユーザーに届ける新薬販売<br>「純麗」の成功をベースに、果敢に新薬メーカーへ<br>新薬を広告宣伝で「二丹」を世界に広める<br>陸軍製薬場の普及に尽くし、製薬経営の発展に成功する                                                     |
| (3) 鉄道開発で生活圏を広げる          | 小村三三<br>今西林三郎<br>水田光熙<br>大塚健明<br>益野又一郎                                    | 一般大衆の心を捉え、私鉄多角経営のモデルを確立<br>都市間連絡電車と郊外住宅開発の先駆け<br>大府一帯間の高速大車輪道を実現、沿線の伸びる大規模な事業を展開<br>新幹線旅客サービスと電化推進でわが国の鉄道網を築き上げる<br>開業の試練乗り越え、「大和」河内から伊勢・名古屋への一気鉄道網の夢を実現                                                                     |
| (4) 重工業発展の基盤を築く           | 久保田權四郎<br>山崎謙吉<br>斎本勢之助<br>E.H.ハンター<br>橋本三三<br>小村三三<br>新田五次郎              | 特殊鋼と産業機械の技術革新に傾注<br>「炭鋼製鋼」をモットーに「ゼル王国」を築く<br>法曹界を出て一大鉄管メーカーを築くと共に、大府工業会の基盤を作る<br>文字2代でわが国造船技術向上に貢献<br>チェーンコンベヤで動力伝達と搬送を革新<br>専任技師と設備調達、産業の生産自動化・装置化に貢献<br>工業用車ベルトの発明で産業の発展を支える                                               |
| (5) モノを通じて<br>生活の近代化をもたらす | 水野初八<br>井上武治郎<br>原田謙太郎<br>伊藤重十郎<br>西村保一<br>中山水一<br>市川誠三郎<br>田嶋一雄<br>島野三三郎 | スポーツを生活文化として確立し、その大衆化に力注ぐ<br>国産縫製用糸の普及と普及に力注ぐ<br>和洋裁縫からスタート、高階・オックス近代化をリード<br>ゼニアイキ(金銭往來出納帳)の開発とオックス近代化に貢献<br>プラスチックの普及で美術教育振興に尽くす<br>化粧品産業の近代化とメセナによる社会貢献<br>魔法瓶の普及に尽くす<br>創製工法は無明火、半導体で世界市場へ「コンカス」を開拓<br>自転車部品で世界トップの基礎を築く |
| (6) 食生活の洋風化を推し進める         | 高井信治郎<br>江崎利一<br>浦上清介・郁夫<br>島井勘吉                                          | 「やってみなはれ」の精神で、国産洋酒のハイオクニアに<br>「おいしさと健康」を基本理念に子どもたちを驚かす「クリコ」を生む<br>日本の家庭料理・カレー・ライス文化をつくる<br>日本人の嗜好にあう初の国産ビールを製造                                                                                                               |
| (7) レジャーとショッピングを演出する      | 吉本せい・林正之助<br>白井松次郎・大谷竹次郎<br>飯田斯七(4代)<br>下村正太郎(11代)                        | 大衆演劇を組織化し、「笑い」をビジネスに<br>古典劇の品格を守りつつ近代的興行を確立<br>斯帯の利権を追求と斬新な企画活動で進化する百貨店文化を形成<br>大衆消費社会の「流行」発信機としての百貨店文化をつくる                                                                                                                  |
| (8) 新聞事業を開花させる            | 村山龍平・上野理一<br>本山彦一<br>新田久吉                                                 | 「朝日新聞」の基盤を築く<br>あくまでハイオクニア「毎日新聞」を生む<br>新聞販売店から一帯で全国版「産経新聞」を生む                                                                                                                                                                |



## 没後 130 年企画 大阪の恩人・五代友厚

### 五代友厚の生涯

#### ●開明的環境のなかで過ごした青少年時代

五代友厚は1835（天保6）年、薩摩藩の上級武士の家に生まれたが、同時代、同じ境遇のなかで生まれ育った人々に比べて、ユニークな青年時代を送った。

その第一は、23歳のとき長崎海軍伝習所に遊学して以来、通算11年ばかり長崎で過ごしたことである。当時の長崎海軍伝習所には勝海舟、榎本武揚など、後に政治家、高級技術者、新知識人として活躍することとなった人々が来ていたし、それ以外でも五代は長崎で、坂本龍馬、木戸孝允、高杉晋作、井上馨、伊藤博文などの志士や、トーマス・グラバーらとも親交をかさねることとなった。このような長崎での生活体験は五代にとって大きな財産となった。

第二は、五代が早くから外国と接触をもったことである。長崎遊学時代には、二度にわたって上海に渡航、汽船、武器などを購入している。1865（慶応元）年には、薩摩藩留学生の引率者としてイギリスに渡り、イギリス各地のほか、ヨーロッパ諸国を訪れ、新しい産業こそが新しい時代を開くとの確信を得ていった。

#### ●新政府に登用される一大阪の文明開化に貢献

新政府が成立すると五代はその新知識を認められて、外国事務掛に登用された。仏水兵と土佐藩士との間の堺事件などの外交事件の善後処理において手腕を発揮、1868（慶応4）年2月には大阪の開港、貿易事務を管轄することとなった。大阪に造幣寮（造幣局）を建設するにあたっては、旧友のグラバーに依頼して香港から英国造幣局の中古機械を購入することに成功している。さらに新政府の肝いりで大阪通商会社・為替会社という貿易・金融機関が設立されることになった際にも、これに消極的であった大阪の有力両替商たちを説得するのに奔走している。このようにして五代の大阪財界における信望は急速に高まった。

ところが、五代は突如会計官権判事として横浜に転勤するよう命じられた。当然のことながら、大阪では五代の大阪留任を求める声がおこった。五代もまた維新後は大阪での仕事に全力を注ぎ、大阪に愛着を抱くようになっていた。まもなく五代は官を辞して大阪に戻る決意を固めた。このとき親友の大久保利通に対し、五代は「政府には人材がそろっているが、民間にはいない。自分は大阪に行って一般の商工業の発展に努力する」と述べたという。こうして実業家としての五代友厚の活動が始まる。1869（明治2）年の夏のことである。

18/19

### ●実業家としての活躍—大阪にニュー・ビジネスモデルをもたらす

五代は実業界に転身後、金銀分析所、鉱山、製藍、活版印刷所など自ら多くの事業を興した。しかし、それ以上に重要なことは、大阪におけるジョイント・ベンチャー（合併事業）の先駆者となったことであった。当時の大阪商人たちの多くは新規事業を興すことには消極的であった。商家というものは自家だけの、あるいはせいぜい同族だけの資本で経営するのが普通であったから、多くの人々の資本と知恵をもちよって「株式会社」を興すというアイデアは明らかに一つの新しいビジネス・モデルであった。五代は家業に固執する商人たちを説得し、多くのジョイント・ベンチャーを興したのである。大阪製銅会社、阪堺鉄道（現南海電鉄）、大阪商船（現商船三井）、神戸棧橋会社、関西貿易社などがそれである。

### ●近代大阪経済の指導者

江戸中期以来、大阪堂島米市場では行われていた先物取引は、社会経済上、重要な役割を果たしていたが、1869（明治2）年新政府がこれを禁じたため、大阪では米穀取引に多大の混乱が生じていた。この影響の大きさを悟って五代は、1876（明治9）年、土居通夫、鴻池善右衛門、磯野小右衛門らと共同で、株式会社組織の堂島米会所を再興している。大阪株式取引所も五代の尽力によって成立したもので、五代は鴻池善右衛門、山口吉郎兵衛らとともに発起人となり、この創設を実現している。

財界団体としては大阪商法会議所の設立が重要である（1878（明治11）年）。株仲間解散によって、大阪で盛んに行われていた信用取引、手形取引、大量取引の商慣習は乱れ、それが経済活動の衰退に拍車をかけていた。五代はこうした状況を打開するためには、確実なる仲間組合を設置するのが急務と考え、中野梧一、藤田伝三郎、広瀬宰平らと協議して、大阪商法会議所を設立した。五代にリードされた大阪商法会議所は大阪の商秩序の正常化を実現するため、株仲間の復活、商業仲間の設置、商業手形の流通促進など旧慣習を重んじる建議を行っている。これは、五代が単なる近代主義者ではなく、経済の実状を重んじるリアリストであったことを物語っている。しかも江戸時代のような単一の業種の仲間団体としてではなく、それを超えて業種横断的な財界団体をつくったのもイノベーションであった。

教育の面でも五代は、1880（明治13）年大阪商業講習所をつくり、大阪の商家の子弟を新しい経済環境に適応させようとした。この大阪商業講習所は大阪高商を経て、現在の大阪市立大学につながる。

一口にいえば、五代友厚の役割は、江戸時代から明治維新の時代への移行過程にあって、模索し苦悩していた人々に、新しい経済人の行動の方向を示した点にあった。「最初のイノベーターは大抵の場合失敗し、後のイミテーターは成功する」。五代が興した事業で残ったものは必ずしも多くない。五代はコストを支払い、後世の大阪はその果実を受け取ったのである。



展示品リスト

19/19

| No. | 資料                              | 年           | No. | 資料                            | 年           |
|-----|---------------------------------|-------------|-----|-------------------------------|-------------|
| ①   | 欧行要集                            | 1865(慶応元)年  | ⑮   | 所有鉱山明細書                       | 1876(明治9)年  |
| ②   | 大阪開港規則                          | 1868(明治元)年  | ⑰   | 明治天皇陛下御幸に関する半田銀山<br>詰吉田市十郎覚え書 | 1876(明治9)年  |
| ③   | 弘成館規則                           | 1873(明治6)年  | ⑱   | 朝陽館広告                         | 1877(明治10)年 |
| ④   | 大阪堂島米商会所規則                      | 1878(明治11)年 | ⑲   | 五代友厚所有財産書                     | 1884(明治17)年 |
| ⑤   | 大阪堺間鉄道敷設願書大意                    | 1874(明治7)年  | ⑳   | 五代友厚死去通知                      | 1885(明治18)年 |
| ⑥   | 公立大阪商業講習所設立建言                   | 1881(明治14)年 | ㉑   | 屋敷図面                          |             |
| ⑦   | 株式取引所条例、大阪株式取引所<br>創立証書、定款、申合規則 | 1878(明治11)年 | ㉒   | 明治10年内国博覧会龍紋褒賞之証状             | 1887(明治10)年 |
| ⑧   | 製銅会社創立証書并定款                     | 1881(明治14)年 | ㉓   | 大阪湾絵図                         | (明治初期)      |
| ⑨   | 関西貿易社創立証書并定款                    | 1881(明治14)年 | ㉔   | 五代による「惣難獣」戯画・文                | 1868(明治元)年  |
| ⑩   | 鉄製棧橋会社設立要書                      | 1882(明治15)年 | ㉕   | 五代より有川十右衛門に送りし退官の<br>書面の一部    | 1870(明治3)年  |
| ⑪   | 外国事務局判事辞令                       | 1868(慶応4)年  | ㉖   | 木戸孝允書翰                        | 1875(明治8)年  |
| ⑫   | 神奈川在勤辞令                         | 1869(明治2)年  | ㉗   | 大久保利通書翰                       | 1869(明治2)年  |
| ⑬   | 五代御暇言上状                         | 1869(明治2)年  | ㉘   | 大隈重信書翰                        | 1878(明治11)年 |
| ⑭   | 五代復職嘆願の一件につき尽力願                 | 1869(明治2)年  | ㉙   | 渋沢栄一書翰                        | 1878(明治11)年 |
| ⑮   | 特許願                             | 1876(明治9)年  | ⑳   | 「弘成館」扁額(大久保利通揮毫)              |             |
|     |                                 |             | ㉑   | 「朝陽館」扁額(大久保利通揮毫)              |             |